

ハンコ屋発！ 起業カフェで 取り込む会社設立需要

インプレス福岡(福岡市)

12月1日は「ロゴマーク・商標登録」、3日は「ビジネスカラー戦略」、10日は「社長の為の就業規則」……。

まるでビジネススクールの講習日程のようだが、名称は「起業カフェ」。主催しているのは何と、印章店なのだ。

「起業家の方々に応援すること

で、ハンコの注文に繋がっていくんです」と説明してくれたのは、主催者であるインプレス福岡(福岡市中央区)の代表取締役、石松道右氏(49)。

起業カフェとは、インプレス福岡が運営する印章店「デザインはんこ」の店舗内で開催される無料個別相談会のことで、助



④デザインはんこの店内でおこなわれた「起業カフェ」の様子。相談は一人ずつおこなわれるので起業家も安心。1日に何人もの相談者が訪れる。

⑤デザインはんこの店外観。大通りに面した好立地。

成金を得るにはどうすればいいのかが社務士に相談したり、上手い会社設立の方法や完璧な融資の申請方法などを行政書士に相談できる場。起業カフェに集うのは、これから会社設立を考えている人や起業して間もない経営者が多い。

「終身雇用が崩壊したことで、起業してチャンスをつかもうとする人が増えた。そのお手伝いをしたかったです」と石松社長は言う。

元々同店は会社設立印を数多く手がけてきた。

「福岡県内では平成20年に35

お金がなければ 助成金を活用せよ

起業家を応援するための態勢も整っており、ハンコはもちろん、名刺、封筒、チラシ、ロゴ、看板、社章、Webサイトなど、会社設立に必要なツールは全て同店で扱っている。さらに、起業した会社をインプレス福岡がFacebookやブログで紹介したり、ニュースリリースの作成方法を教えたり、Web用の動画撮影サービスなどを含む起業家支援のブランディングパッケージまで用意している。

ところが、起業する人達は資金的に余裕があるわけではない。むしろ少しでも経費削減したいのが本音だろう。そこで石松社長が考えたのが、「助成金制度を活用すること。しかし、これから起業する人も石松社長もどうすれば助成金がもらえるのかわからない。ならば「ウチ

起業家、ハンコ屋、 士業家が得する

こうして、昨年10月に「起業カフェ」がスタート。石松社長の人脈を最大限に生かして、弁護士、弁理士、行政書士、税理士、社務士、カラーコンサルタントを集め、これまで12回の個別無料相談会を開催。そこに参加した起業家、経営者の数は総勢約50名になるといふから驚き。開始からわずか2ヶ月弱でこれほどの人を集め、さらにはハンコの注文にも繋がっている。石松社長は、「起業家の方から、会社設立時にロゴマークデザイン、封筒、

名刺、ネームプレート、ホームページ作成、ハンコの注文を丸ごと頂いたこともあり。注文をもらうとだいたい50〜60万円の仕事になるし、中には100万円近い注文が入ったこともある」と「起業カフェ」の成果を話す。

ここまで大きな注文が入るのは、もちろん起業家の人達が無料相談会で大きなメリットを得ているから。「会社を設立するのなら、どうせ実印も名刺も封筒も必要。それなら面倒を見てくれたこの印章店にまかせてみよう」となるのは自然の成りゆ

きだろう。

ちなみに、集まった弁理士などの士業家達にとっても起業カフェは「顧客開拓」というメリットがある。新設立された会社への顧問弁護士や顧問税理士にそのままなることもあるそうだ。

つまり「起業カフェ」は起業家、インプレス福岡、士業家の3者全てがプラスになる魔法の仕組みなのだ。

その一方で悩みもある。「今後は起業カフェにいかにか起業家を集めるかが課題です。SNSを活用して呼びかけていますが、士業家の方々に手弁当で来

様々なアイデアで 独自商品を開発

同店の創業は2000年。元々建築不動産関係の営業をしていた石松社長が知り合いのすすめで印章店を開業。ハンコに關しては全くの素人で、「恥ずかしい話、最初の頃はハンコを作るときに文字を枠につ

ていただいているので、プレッシャーを感じます」と石松社長。しかしその表情に焦りはない。なぜなら、やるべき方向性が見えているからだ。

「起業家を応援する人達は資金的に余裕があるわけではない。むしろ少しでも経費削減したいのが本音だろう。そこで石松社長が考えたのが、「助成金制度を活用すること。しかし、これから起業する人も石松社長もどうすれば助成金がもらえるのかわからない。ならば「ウチ

じ、起業カフェに行き着いた。これにより客数、売上げ共に盛り返し、現在では平均的な印章店の月商を上回る。起業カフェを活性化させることで、売上げはまだまだ拡大の余地があると言ふ。石松社長は、「起業家を応援することは変わりないが、常に世の中の変化を敏感に感じ取りながら、新しいモノを提案していきたい」と意気込む。

これまでの印章業界には無かった全く新しい発想「起業カフェ」。ハンコをPRする場が無ければ「作ってしまえばいい」という積極的な姿勢は学ばべき点が多い。



④デザインはんこの店内。ロゴマーク入り会社実印や似顔絵スタンプなどユニークな商品が並ぶ。新しいカラフルな印材も揃えている。

⑤デザインはんこのスタッフ。右から2番目が石松社長。

同店の立地は福岡市中央区役所の目の前。店舗前は先日ソフバンクホークスの優勝パレードが行われた「明治通り」で、ビジネス街として昼間の人通りも多い。しかし、「ここ5年ほどで徐々に来客数が減り、好立地と呼ばれてもその価値がなくなってきた」と石松社長。そして2009年頃には売上げも減少、「自分が進むべき道が分からなくなり、何がしたいのか、下手をすれば廃業しようか、とまで思い詰めたんです」。

しかし、石松社長は諦めず、集客するために様々な策を講